

中学校第2学年 道徳

⑱ つり橋の村(奈良県道徳教育郷土資料)

学習のねらい

- 十津川村や新十津川町の人々の十津川村への思いや十津川村の中学生たちの郷土に対する思いについて考えることを通して、郷土を見つめ直し、郷土を愛する心情を高める。

郷土の資源について

日本で最も面積の広い村である十津川村には、村内に多くのつり橋があることでも知られている。そのつり橋の中でも「谷瀬のつり橋」は、生活用鉄線の吊り橋として日本最長である。「谷瀬のつり橋」は、そびえ立つ深い山々に囲まれ、眼下には清澄な十津川が流れ、十津川村の人気観光スポットとして有名である。また、明治の大水害により故郷十津川をやむなく離れ、北の大地への移住を決意した人々により開基された新十津川町から贈られた「北を望むフキの像」は、2つの十津川を今もつなく象徴である。

本教材は、旧十津川村立小原中学校の生徒たちが、「十津川生き生きプロジェクト」の学習を通して自分たちの郷土への愛着を深め、多くの人々に十津川村の素晴らしさを知らせようと活動した姿を、郷土を大切に思う十津川村や新十津川町の人々の姿とを重ねて描いたものである。



学習指導要領上の位置付け

- C 郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度

事前指導の工夫

地域社会の発展に貢献する人をゲストティーチャーとして招聘し、地域の人々の思いを聞く機会をつくる。

生徒の郷土に対する思いや地域行事への参画状況などを把握するため、アンケートを実施する。

事後指導の工夫

家庭や地域の人とともに郷土発展のための企画を構想し、実践化を図る。

展開例

| | 学習活動と主な発問 | 指導上の留意点 | 備考 |
|----|---|---|--|
| 導入 | <p>○奈良県にある「日本一」について話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;">○奈良県にある日本一のものを知っていますか。</div> | <ul style="list-style-type: none"> 自由に話し合わせ、教材への導入とするとともに「ふるさと」としての奈良県を見直す機会とする。 | |
| 展開 | <p>○教材「つり橋の村」を読んで話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;">○新十津川町の人たちが、「北を望むフキの像」を十津川村に贈ったのは、どんな思いからでしょうか。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;">○旧小原中学校の生徒たちは、つり橋を調べながら、どんなことを考えていたでしょう。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;">◎新十津川町の人々と旧小原中学校の生徒たちに共通しているものは何だと思いますか。</div> | <ul style="list-style-type: none"> 開基から百年経った新十津川町から送られていることに着目させ、連帯の願いはもちろんであるが、もう一つの故郷である十津川村に対する新十津川町の人々の心情を考えさせる。 調べることを通して、郷土について新たな発見をしたり、人々の思いに触れたりしたことを押さえ、当時の生徒たちの十津川村への愛情の深まりに共感させる。 故郷を離れた立場と現在もそこに住んでいる立場との違いが、離れた故郷とつながりたい気持ちと もっと故郷のことを知ってもらいたい気持ちとして、それぞれ表れていることに着目させ、郷土を愛する気持ちの広がりや深まりを考えさせる。 | <ul style="list-style-type: none"> ワークシート |
| | <p>○自分を振り返る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;">○郷土との「出会い直し」をしたことはありますか。</div> | <ul style="list-style-type: none"> 自分たちの郷土を振り返り、郷土についての思いや考えを自由に話し合うことで、郷土を見つめ直すとともに郷土を愛する心情を高めるようにする。 | |
| 終末 | <p>○「私たちの道徳 中学校」を開き、読んだり書き込んだりする。</p> | <ul style="list-style-type: none"> 「私たちの道徳」を活用したり、郷土のために力を尽くしている人々や指導者自身の郷土に対する思いを話したりして、郷土を愛する心情を更に高める。 | |